

<2022年度 児童発達支援 保護者向けアンケート>

公表日：2023年3月

発達支援ルーム にこっと
高円寺教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	27	10	1	2	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	38	0	0	2	
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	35	3	0	2	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	36	4	0	0	とても清潔に保たれていて、安全に過ごせるよう配慮されています。
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画[ii]が作成されているか	35	2	0	3	
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	37	1	0	2	
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	35	2	0	3	
	⑧	活動プログラム[iii]が固定化しないよう工夫されているか	35	2	1	2	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか					
保護者 への 説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	36	3	1	0	事前の説明はしていないにしてみました
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	37	1	0	2	
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング[iv]等）が行われているか	27	6	2	5	
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	32	4	0	4	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	32	6	0	2	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	13	10	8	9	
	⑯	保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	30	4	1	5	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	33	1	1	5	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	26	6	0	8	
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	33	4	1	2	
非常 時 等 の 対 応	㉔	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	20	7	2	11	これから見ていきたいと思います
	㉕	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	19	8	2	11	
満足 度	㉖	子どもは通所を楽しみにしているか	36	2	1	1	子どもはとても楽しみにしています。次の日の朝「今日も面白い所行く？」と聞いてきました。「水曜日に行くんだよ 楽しみだね」と話していますこれからよろしくお願いします
	㉗	事業所の支援に満足しているか	37	1	0	2	知識、経験豊富なスタッフが充実しており、必要な支援を受けることができ、満足している。

<2022年度 放課後等デイサービス 保護者向けアンケート>

公表日：2023年3月

発達支援ルーム にこっと
高円寺教室

			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見・自由記述
体 環 制 境 整 備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18	2	0	0	子どもの活動のスペースは確保されており、人数が少なくても同じ部屋であり満足しているが、個別のときに隣のやりとりが気になることがたまにある。特に終了時間がずれると落ち着かない感じがする。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	20	0	0	0	
適 切 な 支 援	③	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されているか	20	0	0	0	自宅でもできそうなプログラムを考えてくださってありがとうございます。 簡単すぎず、難しすぎない内容で、達成できるので、自信をつけてくれる。
	④	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	19	1	0	0	
保 護 者 へ の 説 明 等	⑤	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	20	0	0	0	
	⑥	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	20	0	0	0	面談を月に一回はできるはずなのだが、実際には担当者の時間が取れず、担当者の教室出勤日が限られていることもあり、定期的には行われていない。月の最後の方で言われても調整できないので、もっと前から日程を相談してほしい。
	⑦	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	19	1	0	0	
	⑧	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	4	4	3	父母の活動はありますが、保護者会のような親が集まる会は聞いたことがありません。
	⑨	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	3	0	4	
	⑩	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	2	0	1	
	⑪	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	15	3	1	1	
	⑫	個人情報に十分注意しているか	18	1	1	0	
の 非 対 常 応 時	⑬	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	16	2	0	2	
	⑭	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	1	0	6	避難訓練はたしかに時々行われているので、必要最低限のことは行われていると思う。予言せず、プログラムの合間に声掛けだけでもしたらよいのではないかな。
満 足 度	⑮	子どもは通所を楽しみにしているか	15	5	0	0	・子供が行き渡る時がある。 ・小学校に入って、親同士のやりとりが活発になり満足しており、併せて子どもも同士のやりとりが深まり、相互効果だと思う。現在は満足している。たぶんグループの構成メンバーがよいのだろう。ただ、今年になって、3年生だからという思いで、子どもが縛られているような気がする。去年ほど楽しくはないと子どもが言っている。
	⑯	事業所の支援に満足しているか	19	1	0	0	満足度高いです 子供の様子を相談する場所がなかなかないので、いつもありがたく思っています。子供もグループも個別も行くことをとても楽しみにしています。ありがとうございます。

<2022年度 児童発達支援事業 自己評価結果表>

公表日：2023年3月

発達支援ルーム にこっと
高円寺教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		
	②	職員の配置数は適切であるか	○		人員基準以上の数を配置していますが、急な欠勤などがあった場合には、人員が不足する日があります。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		利用児のための設備は概ね整っています。段差などにより配慮が必要な際は、スタッフが入り口でお手伝いをさせて頂くなどのお声掛けをしています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	第三者評価はまだ実施しておりません。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		日々のOJTと共に、定期的にST・OTのSVを実施しています。また、オンラインも活用して、毎月研修を実施しています。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		主観的になりすぎないように、評価バッテリーの活用や、担当者と責任者のダブルチェック体制をとっています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		お子さんの必要性に応じて、K式・田中ビネー・WISC・LDT-Rなどのアセスメントツールを活用しています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		グループ療育については、リーダーを中心にスタッフの意見を聞き取りながら立案しています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	○		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		全員が参加できない日もありますが、必ず打合せをする時間を設け、支援内容や役割分担、配慮事項について確認し合います。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		毎日、必ず振り返りの時間を設けるようにしています。より多くの時間を確保し、丁寧に振り返りを行っていけるよう、創意工夫をしていきたいと思っています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		

関係機関や保護者との連携	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			対象児がいません
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			対象児がいません
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		お子さんとご家族のご希望に合わせて、区の所定書式に基づき就学支援シートや就園支援シートを作成し、情報の引継ぎをしています。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		積極的に区主催の事例検討会や研修会に参加し、連携を図っています。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	実施していません。
	㉙	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	参加が必要な時には、教室長(管理者)・児童発達支援管理責任者が参加します。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		保護者支援事業として、希望者にペアレント・プログラムを実施しました。
保護者への説明責任等	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		初回契約時に責任者が教室長が説明をさせて頂いています。また、待合室にも、運営規定・契約書類などを随時ご確認できるよう、常設しています。
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	現在は開催していません。今後、希望者に向け保護者同士での交流を深めるようなイベントや茶話会を企画したいと考えています。
	㊱	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		
	㊲	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		LINEアカウントによるご案内に加え、不定期ですが会報を通して全体に発信しています。
	㊳	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		
	㊴	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		お子さんはもちろんのこと、保護者の方に合わせて、情報伝達・コミュニケーションを心がけています。
	㊵	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	実施していません。
非常時等の対応	㊶	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		教室の待合スペースに、随時ご確認できるよう、常設しています。毎年、避難訓練を各グループ内で実施しています。
	㊷	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		今後は、訓練の回数をより増やしていきたいと考えています。
	㊸	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		生育歴シートにご記入いただき、確認しています。
	㊹	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	医師との連携や指示はありませんが、ご家族に生育歴シートにご記入いただき、確認しています。また、小麦粉を使った活動の時などは、事前に確認を必ずしています。
	㊺	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット事例集を作成し、事業所内で共有を図っています。
	㊻	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		年に1回は全体研修を通して適切な理解や学びの確保を設けています。
	㊼	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか			身体拘束は行っていません。

<2022年度 放課後等デイサービス 自己評価結果表>

公表日：2023年3月

発達支援ルーム にこっと
高円寺教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○			人員基準に沿って職員配置をしています。職員の急なお休みの場合には、体制が整わない日もあります。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			利用児のための設備は概ね整っています。段差などにより配慮が必要な際は、スタッフが入り口でお手伝いをさせて頂くなどのお声掛けをしています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価はまだ実施しておりません。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			日々のOJTと共に、定期的にST・OTのSVを実施しています。また、オンラインも活用して、毎月研修を実施しています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			主観的になりすぎないように、評価バッテリーの活用や、担当者と責任者のダブルチェック体制をとっています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			お子さんの特性や必要性に応じて、WISC・K-ABC II・WAVES・LDT-Rなどのアセスメントツールを活用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			グループ療育については、リーダーを中心にスタッフの意見を聞き取りながら立案しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		平日・休日ともに、療育時間・場所が同様のため、同じ内容の課題設定をしています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日必ず打合せをする時間を設け、その日の活動プログラムの確認や役割分担を行っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎日、必ず振り返りの時間を設けるようにしています。より多くの時間を確保し、丁寧に振り返りを行っていきよう、創意工夫をしていきたいと思っています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
関係機関や保護者と	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		保護者から情報提供いただき、情報共有をしています。また、必要に応じて学校訪問、電話でのやり取りなどの連携を行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	/	/	/	対象児がいません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			お子さんご家族のご希望に合わせて、区の所定書式に基づき就学支援シートを作成し、情報の引継ぎや共有を図っています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	/	/	/	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			今年度も、杉並区主催のペアレントプログラムや研修会に参加をしました。

の連携	㉔	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	実施していません。
	㉕	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか		○		参加が必要な時には、教室長(管理者)・児童発達支援管理責任者が参加します。
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			にこつとの保護者支援事業として、希望者とフォローアップグループ内にて、ペアレント・プログラムを実施しました。
保護者への説明責任等	㉘	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			初回契約時に責任者が教室長が説明をさせて頂いています。また、待合室にも、運営規定・契約書類などを随時ご確認できるよう、常設しています。
	㉙	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	㉚	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		にこつとを卒業した方々を対象にフォローアップグループを行っており、保護者同士での定期的な交流の場を設けています。
	㉛	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	㉜	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			LINEの公式アカウントによるご案内に加え、不定期ですが会報を通して全体に発信しています。
	㉝	個人情報に十分注意しているか	○			
	㉞	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			お子さんはもちろんのこと、保護者の方に合わせた、情報伝達・コミュニケーションを心がけています。
非常時等の対応	㉟	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	実施していません。
	㊱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		教室の待合スペースにて、随時ご確認できるよう、常設しています。引き続き、置く場所の見やすさや手に取りやすさにつなげていけるよう、工夫します。
	㊲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎年、避難訓練を各グループ内で実施しています。
	㊳	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年に1回は全体研修を通して適切な理解や学びの確保を設けています。
	㊴	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	/	/	/	身体拘束は行っていません。
	㊵	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	医師との連携や指示はありませんが、ご家族に生育歴シートにご記入いただき、確認しています。また、小麦粉を使った活動の時などは、事前に確認を必ずしています。
	㊶	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例集を作成し、事業所内で共有を図っています。